



# 彦根市立中学校の部活動地域移行通信



第1号 令和5年(2023年)11月発行

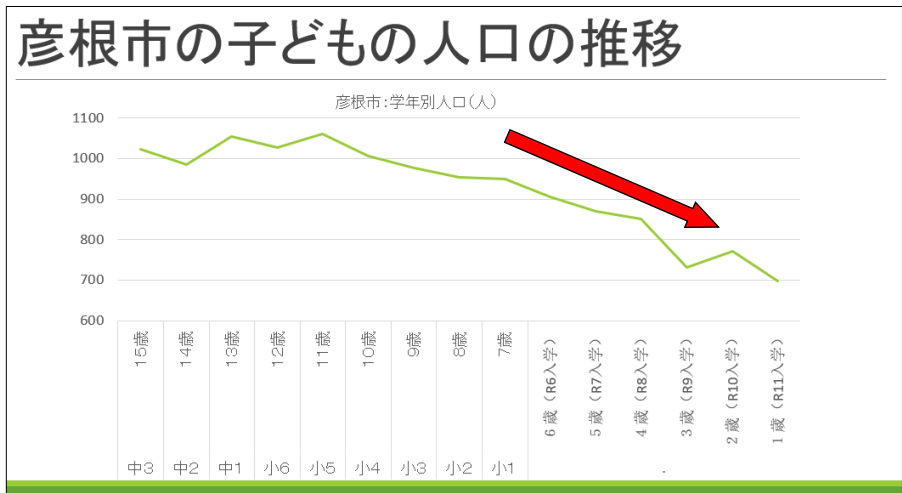
## 中学校部活動から彦根市地域スポーツ・文化芸術活動体制へ

部活動は学校の教育活動の一環として、「人間形成の機会」や「多様な生徒が活躍できる場」「スポーツに親しむ機会」としての意義を深めながら、これまで数十年もの間、日本独特の文化とまで呼ばれるまでに定着してきました。しかし、少子化に伴う学校規模の縮小や、生徒数、教員数の減少により生徒のニーズに応えることができない状況となってきました。こうした背景をうけ、国は今後公立中学校の部活動を段階的に地域へと移行する方向性を示しています。彦根市においても、子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動を保障していくために、地域で活動できる体制を整備していきます。

### 彦根市部活動の現状

令和5年4月時点で彦根市内の子どもの人口は、中学生が1学年当たり1,000人前後です。しかし、小学校4年生以下で徐々に減少し、1歳児の数は約700人程度となる見込みです。

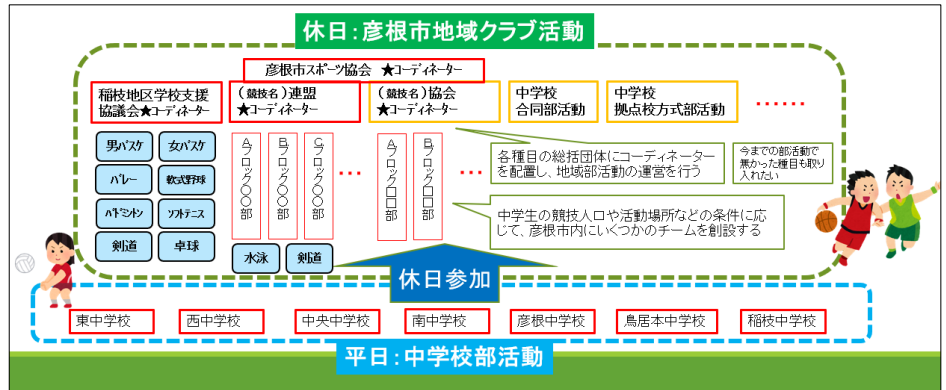
こうした少子化により、今後彦根市では、学校単位でチームが組めなくなったり、学校部活動の数を減らしたりせざるを得なくなります。



**やりたい部活動が学校にない…**  
**部員が少なくて大会に出られない…** といった状況に

## 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動で学校の枠を超えた活動を保障しよう！

○地域スポーツ・文化クラブ活動とは…  
 子ども達のスポーツや文化芸術活動を学校ではなく、地域が支援する活動体制のこと。学校の枠にとらわれず、自由に活動を選択したり、専門的な指導が受けられるようになったりすることを期待するもの。



**平日は「学校部活動」**      **休日は「地域クラブ活動」**